

# 令和3年度事業報告書

(実施期間 令和3年4月1日から令和4年3月31日)

## 【実施事業】

継続事業1：動物愛護思想の普及推進に関する事業

動物愛護週間行事推進のための事業、支部事業（動物愛護教室、犬と猫の飼い方教室、動物ふれあい訪問活動、飼い主を対象としたペットの災害対策研修会）、猫の適正管理推進モデル事業、ポッチとニャンチの愛の伝言板設置・運営事業、動物愛護に関する啓発・広報活動事業、動物愛護相談事業、動物保護管理指導員活動事業、静岡県被災動物救護計画等推進のための事業

継続事業2：動物の保護及び管理に関する事業

動物保護業務等受託事業、負傷動物等保護収容措置事業、静岡県動物管理指導センター週休日管理事業、犬・猫適正飼養等相談業務、静岡市動物愛護館管理事業、静岡市動物指導センターにおける土曜日動物火葬受付業務

## I 実施事業等の状況

令和3年度は実施計画に基づき、以下のとおり実施した。

[継続1]

### 1 動物愛護思想の普及推進に関する事業

#### (1) 動物愛護週間関連事業の実施

ア 毎年度開催している動物愛護フェスティバルは新型コロナウイルス感染症拡大のため、「動物愛護絵画・作文コンクールの表彰」及び「動物保護功労者等への表彰」を目的とした「セレモニー」並びに「動物とのふれあい」などを中心とした「屋外イベント」について今年度も中止したが、動物愛護絵画・作文コンクール入賞作品の展示会については、県内各地で開催・展示した。

#### イ 動物保護功労・動物愛護功労者等の表彰

動物の保護や動物愛護思想の普及啓発に特に功績のあった個人を表彰した。

(一社) 静岡県動物保護協会長表彰 [受賞者氏名(敬称略)、団体名]

【動物保護功労】6名

石川里美、金子嘉徳、西岡浩子、勝亦智徳、望月浩義、矢島俊男

【長寿動物飼養功労者】犬の飼養 2名

時森重栄、小塩勇

#### ウ 第45回(令和3年度)小・中学生動物愛護絵画・作文コンクールの開催

今年度は、夏休み期間である8月20日から新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令され一部の学校で夏休みが延長されたことにより、コンクール史上初めて応募期限を9月24日(金)まで延長することとした。

また、各学校や先生方にご協力いただき、昨年度を大幅に上回る多くの応募があった。

①募集期間：令和3年6月から9月24日まで

②応募状況と優秀賞作品数

絵画の部 1,295点（小学生910点、中学生385点）

作文の部 513点（小学生180点、中学生333点）

③受賞状況

県知事賞、県議会議長賞など7賞の授与

エ 動物遺棄・虐待防止ポスター等の作成・配布（新規）

県民一人一人に動物の遺棄・虐待防止の意識を根付かせるため、ポスター・チラシを作成・配布した。

ポスター 3,500枚、チラシ 41,400枚、ポケットティッシュ 30,000部

配布先 全小中学校（浜松市除く。）、県・保健所、市町、市町所有施設など

オ 動物愛護思想の普及啓発のためのチラシ配布

動物愛護思想を普及・啓発するため、わかりやすいチラシを作成・配布した。

・啓発資材及び部数

始めませんか地域猫活動（TNRm） 25,000枚

ペットとともに生きる ～シルバー世代～ 22,000枚

・配布場所：県・保健所、市町会員34ヶ所、動物保護管理指導員など

(2) 小・中学生動物愛護絵画・作文コンクール優秀作品集の発刊

動物愛護絵画・作文コンクールの受賞作品をまとめた優秀作品集を発刊し多くの方に閲覧してもらうことで、動物愛護意識の普及啓発に努めた。2月に1,000部を発刊・配布した。

(3) 磁気ステッカーの貼布（新規）

各指導班車に磁気ステッカーを貼布することにより県民への動物愛護思想の普及啓発を行った。

(4) 動物愛護セミナーの開催（新規）

動物愛護思想の県民への普及・啓発を図るため、セミナーを開催した。

日 時 令和3年12月12日（日） 13:30～16:00

会 場 富士宮市富丘交流センター

(5) 支部事業

令和3年8月20日から9月30日まで緊急事態宣言により、愛護教室やふれあい訪問を延期・中止し、緊急事態宣言の解除、まん延防止防止地域の解除を受けて、11月からコロナ対策を行ったうえで、順次再開した。

その後、令和4年1月27日から3月21日まで、まん延防止防止地域の指定を受け、再度、愛護教室や、ふれあい訪問などを延期・中止したため、下記のアからエの事業については、実施件数は少なくなった

ア 動物愛護教室の開催

児童・生徒を対象に動物の生態、習性を通してその適正な飼養・管理や危害防止等を学ぶとともに、生命を大切にする優しい心を育てることを目的として開催した。

開催状況：10市町で17回開催

受講者等：906名

イ 犬と猫の飼い方教室の開催

人と動物との共生を目指して、社会性のある犬の育て方や猫の習性などの知識を学び、適正な飼養管理の普及・向上を図ることを目的として開催した。

開催状況：2市で開催

受講者等：119名

ウ 社会福祉施設での動物ふれあい訪問活動

社会福祉施設の入居者を対象に、動物を通して潤いと安らぎを感じてもらうことを目的に、ボランティア団体等の協力を得て動物ふれあい訪問活動を実施した。開催状況：5市町で5回開催

受講者等：125名

エ 飼い主を対象としたペットの災害対策研修会

大規模災害の発生に備え、飼い主とペットが安全に同行避難し、さらに、避難所等での生活を余儀なくされた場合を想定し、クレート（ケージ）順応訓練の方法、飼い主明示、ペット用食料の備蓄、室内飼育（猫）や不妊・去勢措置などの準備を周知することを目的として開催した。

開催状況：6市町で6回開催

受講者：196名

(6) 猫の適正管理推進モデル事業

ア 実施状況

「飼い主のいない猫」の問題が顕在化している地域（地区）を指定し、市町が地域の自治会・獣医師会・動物愛護ボランティア等と協働して、猫の不妊・去勢と適正飼養の推進・捨猫防止や環境美化など「地域猫」問題に取り組む事業の支援を行った。

指定市町・地区・支部：14市町 20地区（9支部）

不妊・去勢措置実施頭数：281頭

イ 熱海市伊豆山土石流災害での緊急対応（再掲）

熱海市伊豆山での猫の保護対策が必要となったため、緊急的に予算を流用し対応した。2地区 20万円

また、熱海市伊豆山土石流災害において、多くの動物も被災したため、その支援に充てるための募金を実施した。

①募金の期間 令和3年7月12日～8月10日

②募金額 21.9万円 23団体・個人（4団体、19個人）

③支援内容 動物愛護ボランティア団体の行う保護猫シェルターの運営費、

## 保護猫の治療費など

### (7) 「ポッチとニャンチの愛の伝言板」の設置・運営事業

#### 伝言板の利用実績

家庭で飼養している犬や猫等をゆずりたい人と新しく飼いたい人との間で橋渡しを行う場を提供することにより、ペット動物の終生飼養と殺処分の減少につながることを目的に実施した。

申 込 頭 数 : 7 4 4 頭 ( 犬 89 頭、猫 634 頭、その他 21 頭 )

成 立 頭 数 : 3 7 5 頭 ( 犬 24 頭、猫 340 頭、その他 11 頭 )

### (8) ホームページでのQ&Aの設置

電話やメールからの問合せ内容や相談内容が多い案件を取りまとめたQ&Aをホームページに掲載し、相談できない時間帯や電話で話が出来ない方でも、インターネットにて検索し解決できるようにした。

### (9) 動物愛護相談事業

事務局に寄せられた300件の様々な相談に対応した。その内容は、動物の譲渡、虐待防止、飼い主不明の猫の保護依頼、動物愛護ボランティア活動、多頭飼育問題についての質問など多様であった。

### (10) 動物保護管理指導員活動事業

#### ア 動物の保護及び管理に関する指導・助言

本協会が委嘱している動物保護管理指導員(11支部 67名)が地域を巡回し動物による危害の防止や適正な取り扱い等に関する指導、地域住民からの不妊・去勢、飼い方や健康管理に関する相談に対応した。

実績 ・危険防止指導頭数 345 頭 (犬 297 頭、猫 46 頭、その他 2 件)

・生活環境の保全・飼い方指導件数 176 件

(犬 82 件、猫 70 件、その他 24 件)

・不妊去勢・新しい飼い主さがし・所有者明示の指導頭数 1,091 頭

(犬 144 頭、猫 947 頭)

など様々な指導を行うとともに住民からの相談に対応した。

#### イ 支部・市町への協力

各支部・市町の実施した様々な動物愛護事業に参加・協力した。

実績 : 149 回 (動物愛護教室 36 回、動物ふれあい訪問活動 14 回、ペット動物の災害対策 19 回、犬と猫の飼い方教室 8 回、飼い主のいない猫対策 72 回)

### (11) 静岡県被災動物救護計画等推進のための事業

#### ア 地域の防災訓練等への参加

新型コロナウイルスの蔓延防止のため、県内市町において地域防災訓練が縮小、中止なる事例が多かったが、そのような状況下でも出来るだけ防災訓練に参加し、ペットの災害対策について広報した。

実績 : 開催地区数 2 市、3 地区

広報対象人数 105 人

イ ペット動物災害対策QRコード付きティッシュペーパーの配布

ペット動物災害対策として発災時に必要なものを知ってもらうためチラシ入りティッシュを作成・配布した。

配布場所：保健所、市町会員 34 ケ所、動物保護管理指導員

配布部数：8,000 部

ウ ペット動物災害対策チラシの配布

配布場所：県、保健所、市町会員 34 ケ所、動物保護管理指導員

配布資材及び部数

- ・ペット動物災害対策(犬編) B 5 5,500 部
- ・ペット動物災害対策(猫編) B 5 5,500 部
- ・ペット動物の災害対策準備ができていますか？

A 4 チラシ (裏：狂犬病予防注射チラシ) 20,000 部

[継続 2]

2 動物の保護及び管理に関する事業

(1) 動物保護業務等受託事業

静岡県の委託を受けて、動物保護第 1 指導班 (県東部保健所)、同第 2 指導班 (県富士保健所)、同第 3 指導班 (県中部保健所)、同第 4 指導班 (県動物管理指導センター) が「狂犬病予防法」、「動物の愛護及び管理に関する法律」、「静岡県動物の愛護及び管理に関する条例」及び「静岡県動物愛護管理推進計画」に関する業務を実施した。

ア 受託業務の内容

- a 動物愛護管理の普及活動
- b 愛護動物の遺棄及び虐待の防止に関する指導及び措置
- c 犬の登録及び予防注射の督促
- d 犬の保護及び収容
- e 動物の適正飼育管理指導
- f 犬及び猫の引き取り
- g 保護した犬並びに引き取った犬・猫の返還及び管理
- h 被災動物保護・救護体制の整備
- i 保健所長及び動物管理指導センター所長が必要と認めた業務

イ 動物保護指導班業務実績

各指導班の日常業務の多くは様々な苦情処理に割かれているが、本年度は 4,545 件の県民からの苦情・相談などに対応した。犬に関しては、「狂犬病予防法」に基づく登録・注射や鑑札・済票の装着を指導 (5,009 件) した。「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく犬猫を含む愛護動物に対しては、適正管理・所有者明示・無責任な餌やりに対する指導 (10,424 件) を実施した。

県民からの通報に基づく犬の保護・抑留は 161 頭であり、犬・猫の引取り頭数は、115 頭 (犬 10 頭・猫 105 頭) であった。

保護・引取りした犬猫のボランティア団体又は個人への譲渡頭数は、207 頭（犬 57 頭・猫 150 頭）であった。

ウ 多頭飼育された動物の保護

4 月 27 日、富士市大淵において多頭飼育による動物虐待があったため警察・保健所と連携し、多頭飼育された動物の保護を行った。

保護頭数 犬：85 頭

保護先 地域の動物愛護ボランティア

うち 8 頭は、一時的に富士保健所動物管理所にて保護

(2) 負傷動物等保護収容措置事業

静岡県の委託を受けて、公共の場所で負傷又は疾病に罹っている所有者不明の指定動物（犬、ねこ、いえうさぎ、鶏、いえぼと、あひる）の保護収容業務を実施した。

実績：208 件（犬 5、猫 192、その他 11）

指定獣医師：182 名

(3) 静岡県動物管理指導センター週休日管理事業

静岡県動物管理指導センターの委託を受けて週休日・祝祭日における動物舎の清掃、動物の飼養管理、動管センター動物愛護館並びに動物ふれあい広場の管理、動物愛護事業の補助等の業務を実施した。

(4) 犬・猫適正飼養等相談業務

静岡県の委託を受け、所有者の判明しない犬・猫の引取り、子犬・子猫をゆずる会並びに犬・猫の譲渡等の業務を実施した。

ア 所有者の判明しない犬・猫に関する相談の受付、引取り、運搬及び収容業務

実績（ ）内は子犬・子猫の再掲

犬引取り頭数 1 頭（うち子犬 0 頭）

猫引取り頭数 13 頭（うち子猫 12 頭）

イ 「子犬・子猫をゆずる会」に関する業務

a 子犬・子猫をゆずる会の開催

開催回数：10 回

譲渡動物頭数：57 頭（子犬 21 頭、子猫 36 頭）

b 子犬・子猫をゆずる会における飼育講習会の開催

受講者数：96 名

ウ 譲渡候補となる犬及び猫の育成・譲渡

実績 犬譲渡頭数 57 頭、猫譲渡頭数 150 頭

(5) 静岡市動物愛護館管理事業

静岡市動物愛護館の指定管理者として業務を実施した。

なお、指定管理が令和 3 年度にて終了するため、令和 4 年度から 5 年間の新たな指定管理について応募し、市議会での議決を経て、静岡市から指定管理を受けることになった。

ア 業務の内容

- a 動物愛護に関する講習会等の開催
- b 飼育相談
- c 動物ふれあい広場の開設
- d 施設・設備の維持管理
- e その他、市長が必要であると認める業務

イ 来館者

8月20日から9月12日まで新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により、愛護館を休館とするともに、一部のワンちゃんプール及び動物フォトコンテスト展示会等を中止した。その後は、コロナ対策を行ったうえで順次再開したが、令和4年1月に、再度、新型コロナウイルス（オミクロン株）の激増を受け、2月「ネコとのふれあい会」、3月「ワンワン譲渡登録会」を中止した。

実績：令和3年度来館者数 8,946名

ウ 動物愛護に関する講習会等の開催

延べ13回開催し410名（大人310名・小中学生等100名）と132頭の動物の参加があった。新型コロナによる感染防止のため、5回中止。

【主なイベントの参加人数及び参加動物頭数】

- ・わんちゃんプール〈動物用プール〉（全5回 129名・77頭）
- ・犬なんでも相談室〈全3回 29名・18頭〉
- ・ネコを知ろう〈ボランティア参加による譲渡会、ふれあい、飼育相談〉

（全2回 206名・37頭）新型コロナによる感染防止のため、1回中止。

エ 飼育相談

施設の利用、伝言板・イベント・火葬に関する問い合わせなど3,844件に対応した。

オ 体験学習（インターンシップ）の受入れ

毎年度、市内の中学・高校・専門学校などから体験学習として生徒・学生等を受け入れている。（全5回 学生9名）

カ 動物の譲渡件数

犬の譲渡 2頭

猫の譲渡 58頭

(6) 静岡市動物指導センターにおける土曜日動物火葬受付業務

静岡市の委託を受け、静岡市動物指導センターにおいて、土曜日のペット動物等の火葬受付並びに取扱手数料の徴収事務を実施した。

実績：火葬受付件数 441件